



◆ 1月21日の収録内容（抜粋）

➤ よろしくお願ひいたします。

最初に1月7日に開催された消防本部点検式のお話をさせていただきます。当日は来賓の方と職員併せて約100人の参加で無事に終了することができましたことをお伝えするとともに、当日は、消防本部のホームページやラジオでお聞きになられた方数名ですが、点検式の様子を、最後の隊員による救助訓練、この訓練は昨年更新配備されました大型化学放水車と泡原液搬送車を活用した訓練でしたが、ご覧いただきましたことを心からお礼申し上げます。ありがとうございました。来年は是非皆様も見にいらしてくださいね。

➤ 本日の話題は、

平成25年中の火災救急救助統計が出来上がりましたので、その結果につきまして簡単に内容をご紹介します。

まず火災件数は、41件でした。前年と比較しますと2件の増加となっています。建物火災に関しては、焼損面積、損害額は大幅な減少となっていますが、発生件数は前年と同様の24件となっています。これは、全体の約60%を占めています。亡くなられた方が、3名、またケガをされた方が7名と昨年から大幅に増加しています。原因は、放火や放火の疑いによるもの、電気の配線によるもの、コンロやたばことなっています。電気コードは時々ほこりがついていないかなどを点検をしてください。また、重たい家具の下敷きにならないように気をつけるなどちょっとした心がけが火事を防ぎますので、注意してください。コンロやたばこの火の不始末もちょっとした不注意が原因ですので、気をつけてください。

消防としましては、住宅用火災警報器の設置推進を重点目標に掲げ、火災による死傷事故の未然防止に努めたいと考えています。住宅用火災警報器につきましては、次回3月1日発行の広報119でも皆様にお知らせする予定です。

《リクエスト曲》

➤ 続きまして、

救急件数ですが、平成26年中の救急出動件数は、4,406件でした。この件数は、京築広域圏消防本部発足以来、最高件数となりました。

この件数を平均してみると、日にちでは、1日に約12件、時間では、約2時間に1件救急車が出動したことになります。また、人数にすると約20人に1の方が救急車を利用したことになります。

今後ますます救急件数の増加が予想されますので、私たち職員もなお一層、救急業務の体制の充実と強化のために努力してまいります。

▶ 次に救助件数ですが、

救助件数は、平成24年が20件に対して、平成25年は21件となっています。この21件というのは、救助活動件数のみの件数であり、救急車の補助活動として、181件の出動をしています。この場合の出動というのは、救急車が出動する時に同時に消防車や救助工作車が出動するということです。このような出動のことをPA出動といいまして、救急現場において傷病者の安全な社内収容補助や、交通事故現場において二次災害の防止に配慮した体制を確保しています。

今後東九州自動車道路の全面開通が進んでいますので、重大な交通事故や多数の傷病者が発生することも考えられますので、そのような場合に速やかに対応できるように、様々な訓練等を計画しているところです。

▶ 番組初めに火災のことをお話しさせていただきました。

暦の上ではもうすぐ立春ですが、寒い日が続いています。ストーブ等の暖房器具がまだまだ大活躍しますので、火の取扱いにはくれぐれも気をつけてください。

京築広域圏消防本部 総務課 総務係
